地域医療センター地域医療連携通信

Kochi Health Sciences Center

にじ

高知医療センター 平成26年度初期臨床研修医のご紹介

……P2~P4

地域医療連携室からのご案内

…… P5~P6

■ 地域医療連携病院のご紹介 Vol.76
医療法人 輝樹会 たかさきクリニック 胃腸科・内科 …… P 7
■ 高知医療センター・イベント情報 …… P 8

6
JUNE 2014 Vol.104

平成26年度初期臨床研修医です。よろしくお願いします！

高知医療センターの理念　　ー 医療の主人公は患者さん ー

今年度の高知医療センター初期臨床研修医の皆さんをご紹介いたします。

平成26年度初期臨床研修医のご紹介

はじめまして！よろしくお願いします！（50音順）

質問内容

①所属　②出身地　③出身大学　④趣味　⑤好きな言葉　⑥高知医療センターを初期研修の場所に選んだ理由と今後の目標　⑦地域医療機関の皆様へのご挨拶

大谷 悠介　おおたに ゆうすけ

①医科　②高知県高知市　③自治医科大学　④旅行、写真
⑤Where there's a will, there's a way.
⑥自分の生まれ育った高知の医療に従事したいと思い、医療センターで研修させていただくことを希望しました。幅広い知識を勉強し、患者さんから話しやすい医師となれるようがんばります。
⑦ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、精一杯努力させていただきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

西原 桜子　さいばら さくらこ

①医科　②高知県高知市　③自治医科大学　④クラリネット 弓道　⑤千射万箭　⑥地域診療で必要になる手技を多く学べ、ドクヘリやくじらネットを使った地域との連携が多いことから、高知医療センターでの研修を決めさせていただきました。一番の決め手となったのは尊敬する大学の先輩方に相談した際、皆さんそろって「医療センターで研修してよかった」と仰っていたことでした。⑦病態の考察や全身管理、地域の病院と高次医療機関の連携などをしっかり学ばせていただきたいと思っています。日々成長できるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

佐々木 雄志　ささき ゆうし

①医科　②高知県　③高知大学　④サイクリング　⑤謙虚
⑥学生時代に実習でお世話になった際に、生き生きと働かれる研修医の先生方に憧れ、ここならば充実した研修生活が送れると思い志望致しました。
⑦生まれ育った高知県の地域医療に貢献できるよう、日々精進して参りますので、宜しくお願い致します。

西川 萌美　にしかわ　めぐみ

①医科　②愛媛県松山市　③高知大学　④買い物、旅行　⑤よい種をまけば、よい実がなる。⑥縁があって高知大学へ入学し、いろんな方と出会い、様々なことを学ばせてくれたこの高知県に少しでも医療を還元することができたらと思い、高知に残りました。特に高知医療センターは、三次救急医療を担うと共に地域に密着した病院でもあり、充実した研修ができると思いました。 ⑦まだまだ未熟者で、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、出来るだけそうならないよう、見て感じてたくさんのことを学び取っていきたいと思っています。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

政岡 未紗　まさおか みさ

①医科　②高知県高知市　③聖マリアンナ医科大学　④弓道、バドミントン、旅行、写真　⑤人生１００として 4×9（しく）３６、８×８（はっぱ）６４[しくしく泣いている割合 36、はっはと笑っている割合は 64]　⑥高知医療センターを選んだ理由は、症例数が多いことはもちろん、熱い先生がいらっしゃるこの環境で医療を学びたいと思ったからです。また笑顔と花のあふれた環境に心惹かれたからです。
⑦大学で地元を離れ、改めて地域の温かさを感じることができました。まだまだ未熟ではありますが、高知県の医療を支えることのできる医師に一日でも早くなれるよう精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

舛谷 友里恵　ますたに ゆりえ

①医科　②高知県四万十市　③島根大学　④読書、カラオケ　⑤何事も経験。
⑥高知医療センターは高知県全域を医療圏としており多くの患者さんがいらっしゃる点と、病院見学に来させて頂いたときに上級医の先生と研修医の方々の仲の良さに魅力を感じ、この様な素晴らしい場所で様々な経験を積みたいと考え初期研修の場に選ばせて頂きました。⑦優しい先生方、コメディカルの方々のおかげで、未熟ながらも日々研修させて頂いています。一歩一歩努力し勉強していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

松枝 洋　まつえだ ひろし

①医科　②大阪府高槻市　③高知大学　④野球　⑤ただの「歩」も、進めばいずれ「と金」となる
⑥高知医療センターは地域拠点病院として地域の医療機関との連携も強く、急性期疾患から慢性期疾患まで診療科を問わず対応しており、より多くの経験を積めるだろうと感じたのが研修場所に選んだ理由です。
⑦高知の医療にとっての「人財」となれるよう、日々研鑽して参ります。よろしくお願いいたします。

平成 26 年度初期臨床研修医のご紹介　次頁につづく→

平成 26 年度初期臨床研修医のご紹介

質問内容

①所属　②出身地　③出身大学　④趣味　⑤好きな言葉　⑥高知医療センターを初期研修の場所に選んだ理由と今後の目標　⑦地域医療機関の皆様へのご挨拶

吉田 千春　よしだ ちはる

①医科　②福岡県　③高知大学　④川遊び　料理　⑤自律　和平　感恩　⑥医学部の 6 年間を高知県で過ごし、その中で豊かな風土の残るこの土地で研修生活をしたいと思いました。また医療センターで働いていた研修医の先輩方を見て、様々な経験をされた様子や話を聞き、私も幅広い知識や医療者としての患者さんへの関わり方を広く学びたいと思い高知医療センターを希望しました。研修医とはいえ、右も左も分からずのひよっこですが、一日も早く患者さんのためになるよう毎日々成長していけるよう頑張ります。⑦まだまだ先生方のご指導の中で学ばせていただくばかりではありますが、医療センターで働く責任感を持って勉強し、診療に臨んでいきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

和田 義敬　わだ よしたか

①医科　②東京都世田谷区　③昭和大学　④演劇、映画　⑤燕雀安んぞ鴻鵠の志を知らんや
⑥地域と連携した医療を実践しておりプライマリケアから専門的なことまで深く学べる環境であること、そして自分が今まで見てきたものと異なる視点を獲得できると考え、高知医療センターを志望致しました。今後は自分からより積極的に学ぶ姿勢を常に持った医師として日々頑張っていきたいと思います。
⑦高知の医療に貢献出来るよう日々精進致しますので、何卒宜しくお願い致します。

手島 秀　てしま しゅう

歯科研修医

①歯科･口腔外科　②高知県　③東京歯科大学　④音楽鑑賞　テニス　⑤ありがとう　⑥地元である高知県の歯科医療に少しでも貢献出来たらと思い、高知医療センターを研修先に選ばせて頂きました。勉強不足で先生方には多々ご迷惑おかけしておりますが、日々勉学に励み少しずつ自分で出来る事を増やしていけたらと思っております。また、研修医として一般歯科治療のみならず初歩的な外科治療も出来るようになるということを目標に、患者さんのことを常に考えながら治療の行える歯科医師になりたいと考えております。⑦はじめまして、歯科研修 1 年目の手島 秀と申します。未熟者ですがこれからたくさんのことを学び少しでも高知県の医療に貢献出来るよう精進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

嶋本 ちひろ　しまもと ちひろ

歯科研修医

①歯科･口腔外科　②室戸市　③岡山大学　④旅行　⑤一生懸命　⑥以前２年間薬剤師として高知医療センターで勤務させていただいたこともあり、研修先として選ばせていただきました。高知県は急速な過疎部の高齢化が進む中で､医療センターでは東は私の出身地の室戸から､西は幡多地域から多くの患者さんを受け入れており、全身状態を考えながら歯科医療に携わる機会が多くあります。口腔内のことはもちろん、患者さん全体を診ることのできる歯科医師になれるよう高知医療センターで学びたいと思います。また、薬剤師と歯科医師のダブルライセンスを生かし、地域医療に貢献できるようにがんばります。⑦まだまだ未熟で、ご迷惑をおかけする事もあると思いますが、一生懸命がんばりますので宜しくお願いします。

地域医療連携室からのご案内

はじめに

日頃は高知医療センターの地域医療連携にご理解、ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

政府が医療制度改革の重要な政策の一つに「医療連携」を位置づける中、2005 年 3 月に当センターは開院しました。地域医療連携室は、当初から前方連携（地域医療機関からの予約受付）の機能を持ち、その後、患者さんの診療に関する相談、転退院に向けた情報提供やサービス調整で退院後の療養生活の確保や社会復帰の支援を行う転退院調整の機能も強化しながら現在に至っています。

地域医療連携の現在の状況

３名の前方連携の事務職は、受け付ける予約の電話やＦＡＸの送受信が毎月 1,000 件を超え、外来の患者さんをスムーズに受診につなげるため日々奮闘しています。2013 年度の紹介患者数は 8,946 名、紹介率は 61% で、地域の先生方のご協力のたまものと感謝しています。一方、当院から診療情報提供書を作成した逆紹介患者数は 13,382 名、逆紹介率は 81% となっています。

皆さんの医療機関の現状やご要望を伺い、当センターの業務改善につなげるため、 年間に約 50 の病院、診療所を訪問させていただいていますが、「診療科によって外来患者の予約枠がいっぱいでいつも断られるため紹介しないようになった。」というお話も聞かせていただいています。こうしたご意見は地域医療センター長から病院長，院内の関係委員会に報告し、安定した予約枠を確保するための対策へと活かされていきます。

転退院調整にあたるＭＳＷは６名（こころのサポートセンター除く）で、2013 年度には 1,544 名の患者さんを担当し、内 1,145 名が地域の医療機関へ転院しました。また、223 名の患者さんが自宅または施設への退院となっています。予約枠を広げ、紹介していただいた患者さんを断ることなく受け入れるためには、転退院調整がよく機能することが必要ですが、昨年度からは、早期に転退院調整を開始するためＭＳＷがカンファレンスやＩＣ、回診に参加する取り組みを行っています。

看護師は前任の室長・岡林看護部長が退任しましたが、副科長の奥田、山崎を配属し、科長・早瀬とで昨年より１名多い３名体制に強化しています。病院全体で医療連携を進めるための院内での協力態勢づくりや在宅医療につなげる取り組みを行っていきます。

くじらネットのご案内

当院の患者さんのカルテをインターネット専用回線を通じてご覧いただける公開カルテシステム「くじらネット」は、4 月末現在で 90 医療機関、151 名の医師の皆様に利用いただいています。当院で抗がん剤治療や急性期治療を受けている患者さんや、繰り返し入院治療が必要となる在宅の患者さんを診られているかかりつけ医師の皆様からは、当院での治療や検査結果が手軽に閲覧できるとご好評いただいております。

例えば、在宅支援診療所の医師が、当院退院後に在宅医療を導入した患者さんが急な発熱で救急受診した場合、そのカルテをほぼリアルタイムで見ることが可能です。また、当院と地域の診療所の両方を受診している場合、科に関係なく当院での検査結果やレントゲン画像の情報共有が可能です。

今後はより活用いただけるように，利用できる職種を増やしていくことを考えています。利用ご検討の際は、地域医療連携室が受付窓口となっていますのでご連絡下さい。

地域医療連携室からのご案内

地域の医療従事者向け研修のご案内

地域医療連携研修会や各科の症例報告会を開催しています。本年度５月31日開催の地域医療連携研修会では、ＣＶリザーバーを題材に講演と実技の研修を行いました。主に地域の医療機関の看護師や訪問看護師の皆様に、当院で作成したＣＶリザーバー管理の知識と技術を身につけていただいたことで、患者さんのより安全な医療・看護が継続されていくことと期待しております。今後の開催予定は、この地域医療連携通信「にじ」や、ホームページ等で広報しますので、ぜひご参加ください。

お知らせとお願い

◆紹介予約受付用ＦＡＸの混雑を改善するため、ＦＡＸ回線を増設して送信と受信を分ける対応と致しました。

◆つきましては、患者さんのご紹介に際しましては、患者さんに本院宛の診療情報提供書をお書きいただくとともに、 是非、下記の地域医療連携室（時間外は救命救急センター外来受付）宛てまでご連絡いただき、受診の受診予約をお取りいただきますよう、よろしくお願いします。

新任地域医療連携室長からのご挨拶

本年 4 月から、地域医療センター次長兼地域医療連携室長に着任した宇井と申します。着任から 2ヶ月が経ち、地域医療支援病院というものが地域の医療機関との絶え間ない協力関係（平均在院日数短縮→病床利用率低下→新規入院患者の増加が必須）の上に成り立っていること、「地域医療連携」が単なる号令ではなく、連携が不十分な場合は病院経営を危うくしたり，地域の医療を不安定にしてしまうものだということをひしひしと感じ始めています。

何よりも医療機関・医師同士の信頼関係を大切に、互いに「顔の見える関係」をつくることができるよう取り組んでまいります。また地域の医療機関の皆様から寄せられるご意見などを当院の業務の改善に結びつけるために、地域医療センター内で自身がしっかりと情報の提供、必要な提言をしていくことも大切にしたいと考えています。院内･院外のジョイントの役目が地域医療連携室の重要な役割ですから。

これからも高知医療センター地域医療連携室にご協力をよろしくお願いいたします。

地域医療連携室スタッフ一同　前列右より２番目：地域医療連携室長（新任）宇井 康之
前列右より３番目：地域医療センター長 西岡 豊
前列右より４番目：地域医療連携室 科長 早瀬 仁美

地域医療連携病院のご紹介 Vol.76

医療法人 輝樹会 たかさきクリニック 胃腸科・内科

〒780-0072 高知市杉井流 2-32
TEL：088（885）6200
FAX：088（885）6201
HP：http://endoscopy.jp/
（診療科）胃腸科・内科・小児科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ～ 13:00	●	●	●	●	●	●	／
15:00 ～ 18:00	●	●	●	／	●	15:00まで	／

（休診日：木曜日 13：00 ～、土曜日 15：00 ～、日曜・祝日、年末年始）

高崎元宏 院長

医療法人輝樹会 たかさきクリニック胃腸科・内科は高崎元宏（高知医科大学 3 期生）が平成 12 年 9 月 1 日に高知インター通りに開設いたしました。当診療所は、胃・大腸の内視鏡検査・治療を行うことを目的として開院しましたが、小中学校や自動車学校に隣接すること、周囲にマンション・アパートなどが多いこともあり、現在は地域のかかりつけ医としての役割をも担っています。

（た：たかさきクリニック、高：高知医療センター）

高：貴院の特徴についてお聞かせください。
た：開業 13 年目となった当診療所は、地域のかかりつけ医として、住民の皆様の健康を守るプライマリ・ケアを担うことが業務の主体となり、高血圧症・糖尿病などの慢性疾患の患者さんも多くなっています。また、特定検診を含めた各種検診や予防接種も行っています。内視鏡医としては安全で快適な内視鏡検査を行い、疾患を早期に発見し早期治療が行えるよう心がけています。

高：貴院が現在力を入れていることを具体的にお聞かせください。
た：私は旧高知県立中央病院時代から、胃腸・胆膵内視鏡を専門としておりましたので、開業後も内視鏡検査を多く行っています。年間の検査数は、胃内視鏡が約 1700 件、大腸内視鏡が約 540 件で、ポリペクトミー・粘膜切除などの治療内視鏡が約 60 件となっています。若年者や検診目的には経鼻内視鏡を導入しており、年間約 350 件の経鼻内視鏡検査を行っています。ピロリ菌除菌治療には特に力を入れていてます。診療所内に尿素呼気試験判定機を設置しており、約 30 分でピロリ菌感染の有無を判定することが可能です。1・2 次除菌治療で除菌成功に至らなかった患者さんにつきましては、保険診療外となりますが 3・4 次除菌治療も積極的に行っています。
また、高知県の将来の医療を担う高知大学医学部学生のサポートも重要だと考えており、5 年前から、1 年生の早期医療体験実習、5 年生のプライマリ・ケア実習を受け入れさせていただいています。当診療所を受診される患者さんにはご協力をお願いいたします。

高：高知医療センターとの連携についていかがですか？
た：専門的な治療の必要な患者さんは、高次医療機関に紹介させていただいていますが、多くの患者さんを高知医療センターへお願いしています。
高知医療センターからは治療経過・結果について詳細なデータをいただいておりますので、follow up にもたいへん役立っています。また、本年 5 月からは、高知医療センターが提供する「くじらネット」（Web 型電子カルテ閲覧サービス ）を導入いたしましたので、退院後の患者さんがシームレスに当診療所と高知医療センターを行き来することが出来るようになると思います。患者さんの情報を共有し、スムーズな治療の継続が出来るように、また快適な生活を送っていただけるように努力していきます。

ご多忙の中、取材にご協力いただきありがとうございました。

高崎院長とスタッフの方々

高知医療センター　イベント情報　6月～

6月

11日（水）

高知医療センター 看護局集合研修　他施設公開研修プログラム（事前申込要）

研修名	「せん妄状態の患者の看護」	場所	高知医療センター 1F 研修室 2・3
		時間	17：30 ～ 19：00
講師	高知医療センター 心のケアサポートチーム		

主催：高知医療センター・看護局 教育担当　申込先 FAX：088（837）6766

15日（日）

高新・高知医療センターがんセミナー・2014（参加費要、事前申込要）

内容	「抗がん剤の副作用と上手につき合う方法」	場所	高新文化教室（RKC 高知放送南館 3 階 37 号室）		
講師	高知医療センター 薬剤局 臨床薬剤部長 宮本 典文 氏	時間	10：30 ～ 12：00	対象	一般（40 名）

主催：高知新聞社、高知医療センター　協賛：アフラック高知支社　主管：高知新聞企業
お問い合わせ：高新文化教室　TEL：088（825）4322　（受講料 9,850 円 / 全 12 回、1,500 円 /1 回）

25日（水）

第 17 回 高知医療センター 外科グループ手術症例検討会（参加費無料）

内容	症例発表 5～6題（予定）	対象	医療関係者
		時間	19：00 ～ 20：30
場所	高知医療センター 2F くろしおホール		

お問い合わせ：高知医療センター・地域医療連携室

28・29日（土・日）

第 12 回 日本周産期循環管理研究会（参加費要・事前申込要）

内容	①新しい循環管理を考える。 ②心エコーを極める。	対象	医療関係者
		時間	28 日 13：00 ～ 18：00 / 29 日 9：00 ～ 15：00
場所	高知市文化プラザ かるぽーと 2F 小ホール	HP	http://perinatal-circuration-management.kenkyuukai.jp/about/

お問い合わせ：高知医療センター・小児科 中田 裕生　088（837）3000（代）

7月

8日（火）

第 16 回 高知医療センター 内科系症例報告会（参加費無料・事前申込不要）

内容	症例報告 5 ～ 6題（予定）	対象	医療関係者
		時間	19：00 ～
場所	高知医療センター 2F くろしおホール		

お問い合わせ：高知医療センター・地域医療連携室

9日（水）

高知医療センター 看護局集合研修　他施設公開研修プログラム（事前申込要）

研修名	「抑うつ状態の患者の看護」	場所	高知医療センター 1F 研修室 2・3
		時間	17：30 ～ 19：00
講師	高知医療センター 精神看護専門看護師 福田 亜紀氏		

主催：高知医療センター・看護局 教育担当　申込先 FAX：088（837）6766

12日（土）

高知医療再生機構 小児科専門医養成支援事業 講演会（参加費無料・事前申込不要）

内容	「学校検尿の有所見者への対応」	場所	高知医療センター 2F くろしおホール		
		時間	15：00 ～ 16：00	対象	医療関係者
講師	国立成育医療研究センター 腎臓・リウマチ・膠原病科　医長 伊藤 秀一 氏				

お問い合わせ：高知医療センター・小児科 西内 律雄 TEL：088（837）3000（代）

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

高知医療センターは今、瑞々しい若葉に四方を包まれています。職員駐車場寄りの林ではウグイスの声も漏れ始めました。この季節、この地は病に立ち向かおうとする患者さん、そしてそれを支える職員にとって、改めて恵まれた環境にあると感じられる季節です。 さて、104 号となる今月号では、今年から本院で医師人生をスタートさせた新人研修医諸君と、これもスタッフ一新で張り切っている地域医療センターを特集いたしました。2ページからのフレッシュマンたちの背景は、これもこの季節恒例となった正面玄関の植木鉢展示のお花の一群です。ご提供いただく本院のボランティアの梅田さんには、ほんとうに頭の下がる思いです。撮影の朝、それぞれの研修医諸君には、自分の好きなお花の前に立って、と言って撮ったのが自己紹介に添えた写真です。また皆様への挨拶もしっかり書いてくれました。どうかご覧ください。それから今までファクシミリでお送りしていました『ほし』ですが、今回から『にじ』に添えてお送りさせていただくことになりました。表裏の最新情報です。ご覧ください。また最後の『イベント情報』にありますように、6月は外科グループの手術症例検討会を、また7月は内科系症例報告会を予定しています。お役に立つ情報提供ができるかと思いますので、ぜひ予定にお入れください。（深田 順一）

平成26年6月1日発行
にじ　6月号（第104号）
毎月発行
編集者：深田 順一
発行者：武田 明雄
印　刷：株式会社高陽堂印刷
発行元：
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL：088（837）3000（代）

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp